

探訪 新ライフスタイル

ライフスタイル

いが、井の頭公園は遊び場に出る緩やかな暮らしぶりはにとどまらず、大人が憩えるカフェも常設され、マルシェやクラフトマーケットなどのイベントも頻繁に開催される。公園からじみ公園は、2016年4月に

リニューアルオープンして吉祥寺スタイルの一翼を担っている。

ホーメレスのたまり場だった東京都豊島区の南池袋

でにぎわう人気のスポットに変貌した。大きな芝生広場におしゃれなカフェ、卓球台やシーソーなどが整備された。そこで同市は、

道路と公園の一体的活用を自指し、道路を1車線減ら

なカフェが一体になった公

園文化が誕生する。

期待を語った。来春には公

園と歩道とスタイルシユ

のカフェ文化ができる」と

カフェやイベント、家族で集う



南池袋公園は赤ちゃん連れの『聖地』(東京都豊島区)

され、コンサート、マルシェ、ワーキングショップ、野外映画観賞会など多彩なイベントが開かれる。赤ちゃんみたいと思える要素の一つになる。若者に人気で、住みたい街の上位の東京・吉祥寺と下北沢の社会価値の大きな違いは、吉祥寺には親しまれる井の頭公園があり、住民と社会をつなぐソーシャルパークの役割を果たしている点だ。

遊び場というイメージが強公园という子供たちの公園づくりに挑んでいた。選定されたのはバルニーバード。同社の佐藤裕久社長は「道路使用許可を取

ることもなく、道路に魅力的にぎわいをつくるパリックな公園づくりに挑んでいた。選定されたのはバルニーバード。同社の佐藤裕久社長は「道路使用許可を取本大地」

は、「世代を超えて人と人、人とコトが交わる公園」に変わることだ。公園が子供の遊び場やサードプレイスの役割だけでなく、井の頭公園、南池袋公園、大津駅前公園のようにギャザリングする工夫が付加された街の居場所になることが期待される。普段の生

活を充実させようとする傾向が見られる現在、もっと

あたり、筆者は同市より委嘱を受け、学識経験者や専門家と共に選定委員となつた。選定されたのはバルニーバード。同社の佐藤裕久社長は「道路使用許可を取本大地」

ることもなく、道路に魅力的にぎわいをつくるパリックな公園づくりに挑んでいた。選定されたのはバルニーバード。同社の佐藤裕久社長は「道路使用許可を取本大地」